

絵画とは無声の詩であり、詩とは有声の絵画である。

Samuel Taylor Coleridge



1. 序論の序論

は～いおはようございます！
起きますよ～起きてくださいよ～ご飯冷めますよ～
…起きて下さい～休みの日になるとす～ぐ夜更かし
なさるんですからっ！御主人様には自己管理ってもの
が足りません！
……寝てるし…
起～き～て～下さいましっ！



2. 通称メイドシケプリについて

これは2005年度冬学期の準必修科目、図形科学(加藤道夫教官 教養学部 情報・図形) 準拠として作成されたちょっぴりアシゲなナニを、試験が終わった後で暇暇になってしまった製作者が全面改訂したシケプリ「もえる図形科学」シリーズです。前半比較的マトモ/後半メイド ver. だった第一版を大幅修正して、改訂版では全章メイデンがご案内しますです！

I. 序論

II. 基礎テクニック

— 副投影、平面と直線の交点

III. 基礎テクニック(2)

— 軸測投影、ラバットメント～PL. 1

IV. PL. 2 多面体

V. PL. 3 点回転、円柱・円錐

VI. PL. 4 断面

VII. PL. 5 Intersection(相貫)

VIII. 過去問解説(2004年度)

IX. 過去問解説(2005年度)

改訂版では全体の構成は左のようになっています。

先に重要な作図操作を学んだ後、順に課題の解説に入っていきます。……むしろシケプリとしての性格が強いかもしれませんね。

2006年度以降レポート課題の内容が変わることも考えられますが、そうそうガラリと変わったりはしない(はず)なのでご参考にはなるかと思えますです。

最後のほうで実際に試験問題を解きます。加藤教官は問題が解答用紙に載ってるので、回収され、なかなか過去問はネットでなかなか見つかりませんし、それに対するシケプリはいわんや！です。なので御主人様には本シケプリを手元に置いて是非是非頑張ってもらいたいです。

全体として小難しいコトは極力控え、分かりやすさ第一のシケプリとして進めて行こうと思っています。よろしければ最後までお付き合い下さいまし。

……ってすっかり忘れてましたけど雪名と申しますです。妹が一人いまして、出身は恵比寿…それはやばいか。

3. 図形科学(加藤教官)について

教科書は『デザインの図学』(文化出版社)を用います。教える程ですが用います。
¥3500.

……安くはない…ですよね。いえ、使った回数を考えれば高いと断言しますです！高くても重くてあまり使わない。大学の教科書ってのはそんなのがけっこう多いわけですが。…え～～…先程も申しましたが、図形科学は準必修なので……しかも「図形」で作図ばかりなので…やりたくない人は別にやらなくてもいいわけです。

【作者注:2005年度我がクラスでは第一回の授業には行って見て即刻教科書を友達に売る人続出。教科書はクラスメートから安く売ってもらうのも手かも?とにかく教科書購入は第一回目のガイダンスを聞いてみてからのほうが無難。】

加藤教官についてですが、どうやら他の教官よりも少々難しい内容みたいです。準必修は教官選べませんし。たまに板書の重要な部分を間違えて生徒の注意力を喚び起こすちょっぴりオキヤメな方でもあります。過去問の模範解答が間違っていて試験期間の重い空気を和ませてくれる方でもあります。

授業に必要なのは三角定規と(たまに)教科書です。……コンパスもです！コンパス大事です！定規は「30cm程度のものがよい」とのことでしたが、みんな普通の定規使っていました。三角定規は大きいものが生協で売られています。コンパスも高いです。きちんとした円が描けないものはコンパスとは言いません、買いましょう。…とは言うものの、教科書と同じ理由で、慎重に…。



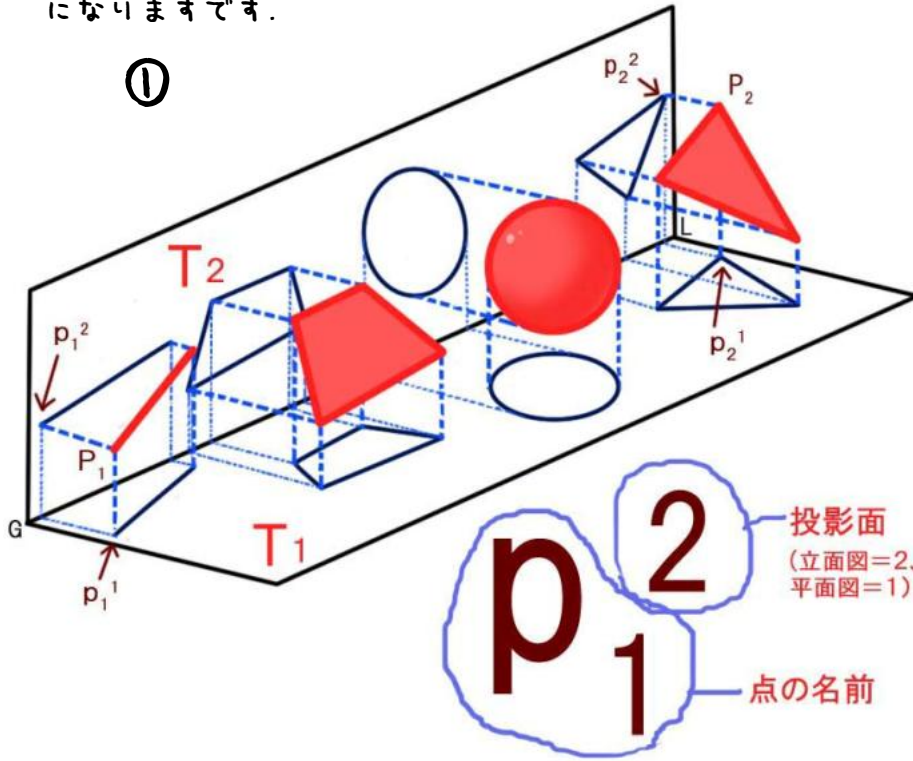
評価は出席+レポート+期末。出席とレポートで40点前後あります。普段から油断なさらずに。レポートは授業でやった例題より難しいものが出ます。とっづくにくいですが、よく考えて理解すればなんてことないものが多いです。私も頑張って解説するので御主人様もふまいと！です。

試験は何でも持ち込み可。とはいえ、レポート課題の応用とか出たりもするので、やっぱり付け焼刃では解けないものが多いです。このシケプリをもとに真面目に取り組めば成績の心配は全くありませんです。…たぶん。

4. 序論の本論 — 正投影

図形科学で最も重要な表現方法は正投影です。① 9割5分これだと言っているんです。もうひとつ、軸測投影というのがありますが、これは次回以降に譲ります。

さてさて、正投影ですが、要するに、平面図・立面図という二つのスクリーンにそれぞれ影を映し出したもののことです。それだけです。下図参照。これから半年間、ずっと付き合っていくことになると思います。



便宜上、平面図をT1、立面図をT2と呼びます。定義です。

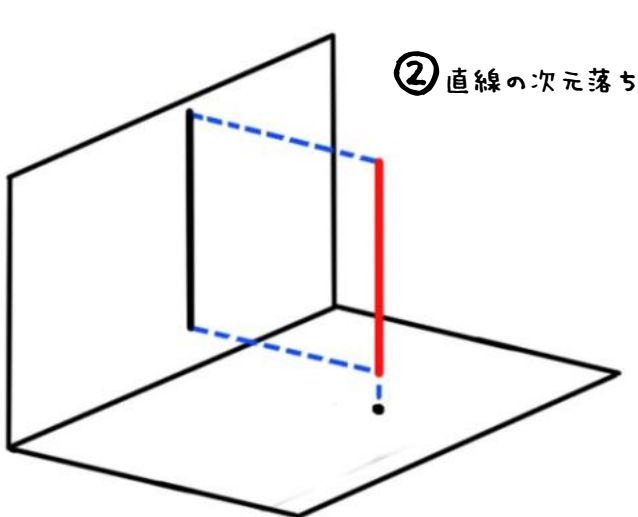
また、T1とT2の境目を基線(G-L)と呼びます。

空間中の点を投影した点の名付け方にもルールがあります。慣れると簡単です。誰ですか！上付き反変下付き共変なんて言ってる人は！

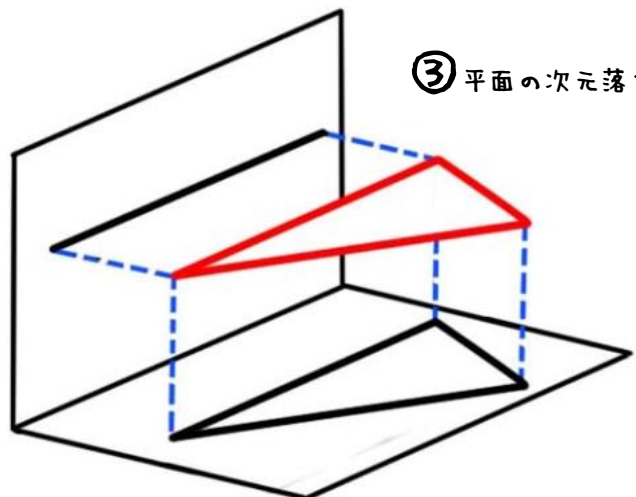
投影面Tや点の名前のもっと突っ込んだ説明はⅡ.の副投影に持ち越します。今日は基本用語の確認だけということ。

投影したときに形が見えにくくなる特殊な場合もあります。図形によっては、直線が点に、または、平面が直線に投影されることもあるわけです。これを俗に「次元落ち」といいます。②③

…少し突っ込みますと、任意の直線及び平面は、次元落ちするような投影をとることが可能です。この話はまたもや副投影に譲りますです。なんだか、基本テクニックがとても大事な気がしてきましたね～！



② 直線の次元落ち



③ 平面の次元落ち

図形と平面図の交線を「水平跡線」と呼びます。④

これはかなり重要です。いつもこればかり求めてる気がします。これは図形を含む平面と平面図との交線でもあります。(一般に、平面や直線は無限に広がっているものと考えます)

定義からすれば、「直立跡線」もあるはずですが、…出てきた覚えがありません。シケ対でさえ「水平跡線の逆って何て言うっけ? 垂直跡線?」…そんな感じです。

実はGL線まわりの投影面は他にもあります。…が、これもやっぱり出てきた覚えがありません。

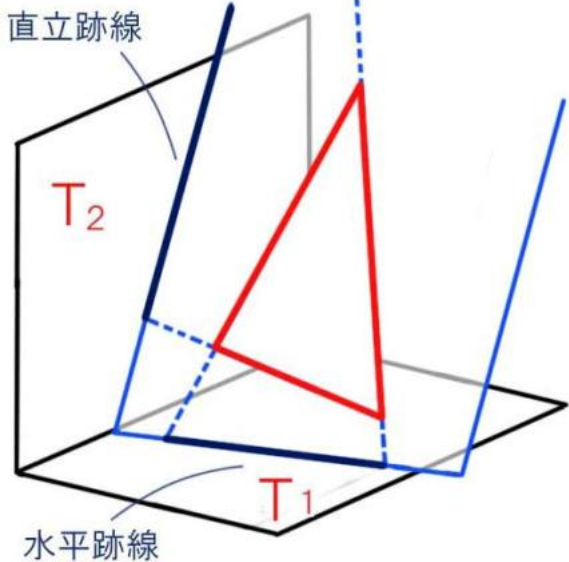
第一象限だけで考えて差し支えないでしょう。⑤

ただ、2004年度の過去問に少しだけここあたりの話に触れた問題がありました。

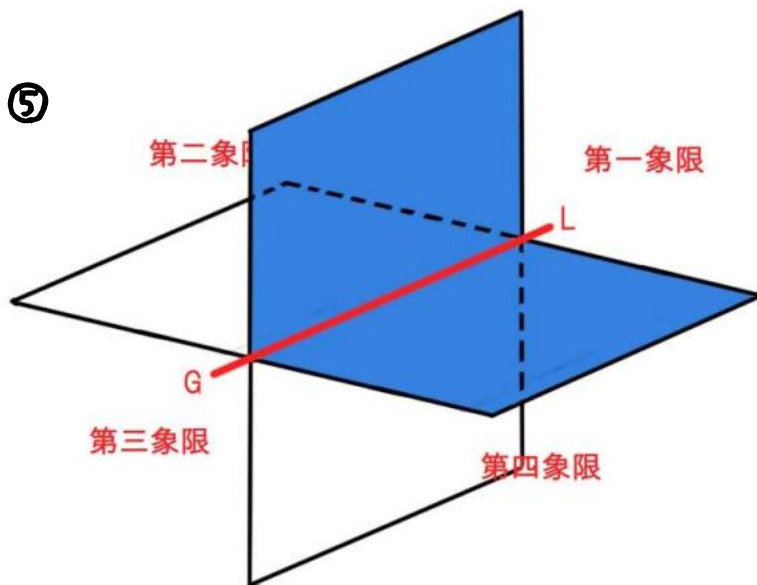
穴埋め問題とかも出たりするので、最低限の基礎知識は必要なようです。

次回より本格的に作図について学んでもいいかも持ち込み可能なわけですけどね。ではでは、お疲れ様でした!

④



⑤



聴いてたもの
「ありがとう」「雪催い」他ゲーソン多数

製作 RAG
製作指揮 YK